

UNIT 27 仮定(2)

《解答》

- (730) 2 (731) 4 (732) 2 (733) 2 (734) 2
 (735) 3 (736) 4 (737) 1 (738) 1 (739) if(though)
 (740) I, were (741) you, got (742) had, been (743) had, had
 (744) But, for (745) had, taken (746) I, you (747) had, been
 (748) consideration (749) 4136572(as if he had heard about it)
 (750) 413526(you wouldn't do such things like)
 (751) 15679348(a little more patience you could have solved)
 (752) 425763(have saved a lot of money by growing all their own)
 (753) ②(hasn'tをhadn'tに直す)
 (754) If it had not been for water[Had it not be for, If there had not been water]

《問題文の和訳と解説》

(730) 彼女はパリに何回も行ったことがあるかのようにパリについて話す。

「まるで～のように」はas if + 仮定法を用いる。主節とas if以下の時制が同じであればas if以下は過去形(as if S V過去形「まるで(今)～であるかのように」)、主節よりもas if以下の時制が以前のことであればas if以下は過去完了(as if S had 過去分詞「まるで(あの時)～だったかのように」)になる。この問題では「彼女が現在話す」より「(まるで)パリに行った(かのように)」の部分は以前のことでas if以下は過去完了。空欄の後に来るthereが副詞なので前置詞を使っている③had been toではなく、②had beenが正解。as ifはas thoughにすることも可。

(731) もう寝る時間ですよ。

It is (high, about) time that S V過去形「もう(とくに、そろそろ) Vすべき時間だ」。したがって④が正解。この文はIt is time for you to go to bed.に書き換え可能。

(732) その劇はとて面白かった。君も行けたらよかったのに。

wishの後に(that) SVが続く場合は、SVの部分は仮定法。「～だったらよいのに」(現在の事実と反することを現在願っている)はS wish + 仮定法過去を用い、「(あの時)～していたらよかったのに」(過去の事実と反することを現在願っている)はS wish + 仮定法過去完了にする。この問題では過去のことを現在願っているので②could have beenが正解。

(733) 彼は最善を尽くした。さもなければ、一等賞はとれなかっただろう。

otherwise「さもなければ、もし～でなければ」。この問題のotherwiseは前の文He did his bestを否定した「もし最善を尽くしていなければ」という過去の内容なので、仮定法過去完了のif節、If he had not done his bestの代わり。したがって空欄にも仮定法過去完了を使い、②would have wonが正解。④は文の内容的にnotが不要。

(734) ウィリアムがいなければ、方法は決して見つからなかったろう。

カンマの後ろで、would have 過去分詞を使っているので、仮定法過去完了と判断する。②Withoutが正解。このWithoutはIf it had not been forの代わり。①はBut for ならWithoutと同じ意味で正しい。

(735) もう少し忍耐があれば、君は成功したろうに。

with A「もしAがあったら」。③が正解。①What, ④Ifの後には節が続くので不可。ifを使った場合haは過去の内容なので仮定法過去完了を用い、If you had been a little more patient, ~。

(736) その雨がなかったら、楽しい旅行ができたろうに。

主節がwould have 過去分詞＝仮定法過去完了なので、仮定法過去②If it did not rainは不可。①は仮定法過去完了だが内容的に否定でなければいけないので不可。If it had not rainedなら正しい。「Aがなかったら」はbut for Aを用いて表せるので、④が正解。③はWithout the rainなら正しい。

(737) 君はとてもよくやったが、さらに頑張ることもできたであろう。

but以下は、「あなただったら（実際に頑張ったよりも）もっと頑張ることが出来たのに」という内容で、事実とは異なることを表しているから仮定法を用いる。過去のことなので仮定法過去完了を用い①could have doneが正解。

(738) 素晴らしい日だね。天気はハイキングにはうってつけだ。

①のbetterを入れて、The weather could not be better …とすれば、「天気をもっと良くなることはあり得ないだろう」→「現在の天気が一番だ」という意味。口語でよく用いられる次の表現を覚えておきたい。(It) Couldn't be better.「これ以上良くなり得ない → 最高だ」。

(739) 私は彼が言うことを聞いていないふりをした。

「聞こえないふりをした」という文は「まるで聞こえないかのように行動する」と書き換えられるのでas if[though] + 仮定法で上の文と同じ内容にすることが出来る。正解はifまたはthough。

(740) 今パりにいたらなあと思う。

「今パりにいないことが残念だ」は「今パりにいればよいのになあ」と言い換えられるので、I wish + 仮定法を用いる。正解はI were。

(741) もう仕事にとりかかる時間ですよ。

上の文は、「もう仕事に取り掛かるべき時間だ」という意味。It is time for S to V = It is (high, about) time S V過去形「もう（とくに、そろそろ）Vすべき時間だ」。正解はyou got. get down to A「A（仕事など）にとりかかる」。

(742) 君の忠告がなかったら、このレポートは書けなかっただろう。

without A「もしAがなかったら」は、if it were not for A（仮定法過去）か、if it had not been for A（仮定法過去完了）に書き換えられる。この文は主節がcould have 過去分詞（仮定法過去完了）なので、had, beenが正解。

(743) もう少しお金があったら、彼は破産しなかったろうに。

with A「もしAがあれば」。主節でwould have 過去分詞を用い、過去の事実と反する仮定の話なので、「もしあともう少しのお金を彼が持っていたならば」（仮定法過去完了）という意味の英文に書き換える。正解はhad had。

(744) 君の友情がなかったら、私は全ての希望を失っていたであろう。

「もし（あの時）Aが無かったら」という意味のif it had not been for A（仮定法過去完了）は、without Aや、but for Aで書き換えられる。But forが正解。

(745) もう一步踏み出していたら君は崖から落ちていたろう。

命令文, and SV「～しなさい、そうすれば」という構文と同様に、名詞, and SV「もし名詞だったら、SV」という表現もあり、SVの部分が仮定法になることもある。上のand以下が would have 過去分詞なので仮定法過去完了。正解はhad taken。

(746) 君の立場なら私はそれをしないだろう。

in A's place「もしAの立場なら」=if S were A, if S had been A. この問題はwould + V原形なので仮定法過去。正解はI, you. in A's placeは in A's shoes, if S were[had been] in A's shoesと書き換え可能。

(747) 日本人だったら、違った反応をしていただろう。

上の文は、ifはないがwould have 過去分詞を使っており仮定法過去完了。主語A Japaneseが「もし日本人ならば」というif節の代わりをしており、If he had been a Japaneseと書き換えられる。正解はhad been。

(748) 少し考えれば、その件はかなりうまく片付いていたかもしれない。

if節のある仮定法をif節のない仮定法に書き換える問題。動詞のconsideredを主語＝名詞に替える。正解はconsideration. A little consideration might have settled …「少しの熟慮が…を解決したかもしれない」→「少し考えれば…を解決したかもしれない」となる。

(749) 彼はそれについて聞いていたかのように話した。

正解はas if he had heard about it. as if[though] + 仮定法「まるで～であるかのように」。彼が話したより以前にそのことに関して聞いたことがあったかのように、という時制のズレを仮定法過去完了で表している。

(750) 君に真夜中に外出するようなことをしてほしくないのだが。

正解はyou wouldn't do such things like. 上の文は直説法、下の文as if+SVなので仮定法。下は「真夜中に外出するようなことをあなたがしなければ良いのに」という意味。I wish + 仮定法「～だったら良いのに」。この問題のlikeは前置詞で「～のような」という意味。

(751) 訳文はテキスト参照。

正解はa little more patience you could have solved。「もう少し辛抱で」は「あともう少しの忍耐力があったら」と考え、with A「もしAがあったら」を用いる。「その問題が解けたのに」の部分は過去の内容なので仮定法過去完了を用い、could have 過去分詞で表す。

(752) 訳文はテキスト参照。

正解はhave saved a lot of money by growing all their own。「野菜を自家栽培したら」は「自分たち自身の野菜を育てることによって」と考え、by growing …とする。「節約できたのに」の部分は過去なので仮定法過去完了を用い、could have 過去分詞で表す。

(753) 彼は1ヶ月間、十分な食事を取らなかったような顔をしていた。

as if SV = as though SV「まるで～のように」。この表現は主節とas 以下が同じ時制なら仮定法過去、as以下の方が以前のことならば仮定法過去完了。この問題ではas以下はlookedより以前の1ヶ月間のことを述べ、時制のズレがあるので仮定法過去完了を使う。②のhe hasn't had をhe hadn't hadに替える。

(754) 水がなかったら、全ての生物は地上で生きられなかったろう。

but for A「もしAがなかったら」=if it were not [had not been] for A. この問題は主節がcould have 過去分詞＝仮定法過去完了なので、if it[there] had not been for A に書き換える。